

播磨町の北の玄関口「土山駅北」の令和のまちづくりがスタートします



▲土山駅前自治会丸山会長（右）と佐伯町長



▲熱心に講聴する参加者の皆さん



▲井原さんの講演は、まちづくりの検討につながる貴重な時間となりました

6月24日、土山駅前公民館で、「まちづくり懇談会」が開催されました。JR土山駅北周辺地区のまちづくりの検討を再スタートするため、町長からは過去の経緯の説明と今後に向けた熱い思いのこもった挨拶がありました。その後、都市計画課から、JR土山駅北周辺地区の現状や課題、今年度・来年度の目標について説明を行ったあと、NPO法人地域再生研究センターの井原友建さんより、「みんなで実現する『三方よし』のまちづくり〜地方都市駅周辺のまちづくりの極意〜」と題し

JR土山駅北周辺地区 まちづくり懇談会

て、講演をいただきました。土山駅北らしい再整備のあり方を皆で検討していくことの大切さや、駅前という場所の「まちづくり」を考えるには住まう人・行きかう人など様々な人のことを視野に入れる必要があるというお話しをいただきました。今後のJR土山駅北周辺地区まちづくりの経過については、町ホームページに掲載します。

問 都市計画課計画調整係
☎ 079-435-2366



JR土山駅北周辺地区まちづくりホームページ

自転車の安全な乗り方をシミュレーターを使って体験しました！



▲自転車目線のシミュレーターで学習

6月21日、ことぶき大学OB会の講座で、加古川警察署と播磨町役場危機管理課合同による交通安全教室を実施しました。車の免許返納、自転車のヘルメット着用・保険加入、歩行時の注意などの話を聞きました。ロビーでは、自転車の安全な乗り方をシミュレーターを使って体験しました。また、東播磨県民局からも資料や啓発グッズを用意していただき、充実した講座となりました。警察からの「事故にあわない、起こさない！」の言葉に、学生からは「自分のため家族のためにも、交通安全に気を付けよう」との声が聞かれました。

問 中央公民館
☎ 079-437-6980

ことぶき大学OB会 「交通安全教室」

ようこそ播磨町へ！ ライマ姉妹都市との長きにわたり続く交流

ライマ姉妹都市協会訪問団11人が播磨町に来町しました



▲ライマ市の皆さんと（歓迎会にて撮影）

アメリカ・オハイオ州ライマ市と播磨町は、1999年3月に姉妹都市提携を結び、互いに交流を深めてきました。新型コロナウイルスの影響により、ライマ市から訪問団が訪れるのは5年ぶりです。

訪問団は6月8日から12日の朝まで播磨町に滞在。町内の施設で座禅や茶道を体験し、播磨中学校、蓮池幼稚園での子どもたちとの交流を経て、日本の文化・教育に触れました。また、週末は町内のホストファミリーの家にホームステイし、それぞれの播磨町の思い出をつくりました。

問 播磨町国際交流協会
☎ 079-435-2364

新島で働く人たちによる一斉清掃

リフレッシュ瀬戸内 新島南護岸を清掃しました

6月20日、新島で操業する事業所から約70人が参加し、「リフレッシュ瀬戸内」が実施されました。「リフレッシュ瀬戸内」は、近畿・中国・四国・九州の瀬戸内に面した地域で毎年清掃活動をしているもので、今年は29回目の開催となります。参加者は、手に火ばさみやゴミ袋を持って播磨灘を臨む新島南側の護岸の捨てられたゴミを回収してまわりました。

問 都市基盤部土木課
☎ 079-435-2365



▲長い護岸を歩きながら清掃しました

空き家除却促進に係る連携協定

株式会社クラッソーネと連携協定を締結しました

令和5年6月15日、播磨町は、株式会社クラッソーネ（川口哲平代表取締役）と空き家除却促進に係る連携協定を締結しました。今回の協定締結による空き家の解体費用や解体後の土地売却査定価格の概算を把握できる「解体費用シミュレーター」や「すまいの終活ナビ」などの活用により、管理不全な空き家の除却促進を図り、安心なまちづくりを目指します。

問 都市計画課建築土地利用係
☎ 079-435-2366



▲空き家の悩みにお力添えをいただきます



連携協定の詳細について